

平成14年度市政執行方針



主要施策⑤

快適で魅力あるまちづくり

ンしますので、周辺の豊かな自然を活用した自然環境学習の拠点としてその活用を図ってまいります。

◎情報化の推進についてであります。昨年、情報通信基盤整備事業として、公共施設37カ所を接続する光ファイバーネットワークを構築しました。本事業は、将来の電子自治体構築に向けた基盤となるものと考えています。

当面は、市議会の会議録システムや例規集検索システムなど、インターネット上での情報開示につなげるとともに、電子会議室などITの双方向性を利用して市民参画のツールとして活用してまいります。



▲登別市地域情報センター

また、引き続き未経験者向けのIT講習会を実施するとともに、地域情報センターを活用してホームページの作成など気軽にパソコンを楽しむための講習会も開催してまいります。

◎まちづくりの指針となる「まちづくりアクションプラン」については、平成13年度にまとめた素案をもとに最終的な検討を進めながら計画を策定してまいります。



▲まちづくりアクションプラン『子どもワークショップ』で活発に意見交換する子どもたち

◎公園の整備では、本年度より亀田記念公園について園路のこう配緩和、段差の解消、身障者トイレの設置や水洗化などバリアフリー化を進め、高齢者や障害を持つ方も安心して快適な利用が図られるよう取り組んでまいります。

◎道路整備については、引き続き登別



▲国道36号線登別東町地区交差点

温泉バイパス第二区や国道36号線登別東町地区交差点改良などの広域幹線道路網の整備促進に努めるとともに、安全で快適な生活環境を確保するため市内の幹線道路や生活道路の整備を推進してまいります。

◎また、交通安全対策として歩道の整備や、坂道のロードヒーティングなどの整備を引き続き実施してまいります。

◎上水道事業については、安全かつ良質な水の安定供給を図るため、柏木町に新たな配水池を建設することとし、本年度から2カ年計画で進めてまいります。

◎公共下水道事業については、平成13年度末で約68%の普及率となる見込みであります。引き続き、登別町地区に加え大和町地区の面整備を推進してまいります。



また、登別地区の整備に向けた、幌別ポンプ場、登別ポンプ場の建設用地を確保いたします。

下水道整備が後年次となる登別温泉

地区などについては、合併処理浄化槽の設置などその方向性を定めてまいります。

◎公営住宅であります。市営桜木団地については8号棟の建設と駐車場、集会所、児童遊園施設の整備を進め、完成を期してまいります。

◎消防防災体制の強化についてであります。昨年度から2カ年計画で進めてまいりましたサイレン遠隔吹鳴装置を引き続き設置し、災害時における消防職員ならびに消防団員などの迅速な召集など初動体制の確立を図るとともに、地域住民に対し正確な災害情報の伝達に努めてまいります。

また、災害時における水利確保のため引き続き消火栓などの整備を進めるとともに、消防車両の更新を行い消防機動力の充実強化を図ってまいります。



▲サイレン遠隔吹鳴装置

◎救急体制については、引き続き救急救命士の養成を行うとともに、新日鐵室蘭総合病院にも心電図受診装置を設置し、医師の指示による適切な救命活動の推進に努めてまいります。